

■ 子どもの貧困対策について

1 基本方針を策定

- ② 平成 29 年 3 月：「日野市子どもの貧困対策に関する基本方針を策定」
- ② 策定の目的
 - 子どもが置かれている生活実態を把握し、根底にある根本的な原因を究明し解決策を実施する
 - 子ども及びその家庭に関わる全ての関係者が情報を共有し、関係機関がそれぞれの立場で目的の達成に努める
 - 関係機関は、ともに協力・連携し課題の解決に努める。その際、関係機関が個々の役割を認識し、自らの責任のもと施策を策定し実行する
- ③ 基本方針の期間：平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間
- ④ 基本的な考え方だけではなく、具体的な 21 の施策項目、76 の事業と担当課を位置づけ

2 策定の経過

- ① 「日野市子どもの貧困対策協議会」で素案をまとめた
 - 様々な分野から集まった 16 名で委員会を構成
 - 平成 28 年 7 月から平成 29 年 2 月にかけて、6 回の協議会を開催
- ② 貧困に関する市内の現状を把握、分析
 - 相対的貧困率を算定
 - 子どもと保護者の生活実態調査を実施（郵送によるアンケート）
 - ひとり親世帯に対するアンケート調査を実施（児童扶養手当受給者に対して）
 - 市内の貧困対策につながる事業を行っている団体等に、ヒアリングを実施
- ③ 素案に対して、パブリックコメントを実施
 - 16 名の市民から 46 件の意見提出あり

3 今後に向けて

- ① 基本方針に基づき、具体的な事業を市民、事業所、NPO 等とネットワークを組み、「諸力融合」で進めていく。
- ② 事業の進行管理等は、「日野市子どもの貧困対策推進委員会」で行っていく
- ③ 貧困率、子どもと保護者の生活実態、支援する側の実態等を定期的に調査していく
- ④ 動き出している事業（教育委員会関連の例示）
 - 「家庭訪問の実施検討」
 - 「就学援助の拡充検討」